

○「九条の会」は04年6月、井上ひさしや大江健三郎、澤地久枝ら9人の呼びかけで「憲法9条を守る」という一点で、生まれた会です。今や全国に7,507、福島県内でも100以上の会が、無党派で、独自の自由な平和のための活動をしています。年会費千円でどなたでも入会できます。「はらまち九条の会」事務局までご連絡ください。



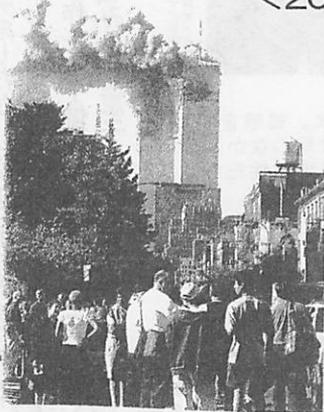
九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.146

2010(平成22)年 9月11日(土)発行

<2001(平成13)年9月11日、ニューヨークで「9.11事件」起こる>

●ニューヨークの世界貿易センタービルにハイジャックされた旅客機が突っ込む自爆テロが起こる。アメリカ・ブッシュ大統領は、乗っ取り犯はオサマ=ビン=ラーディンを指導者とするイスラーム原理主義組織アルカイダのメンバーとみなし、テログループに対し報復を表明した。●アメリカはアフガニスタンに侵攻し、2003年3月、大量破壊兵器を発見し廃棄する口実でイラク戦争を開始。サダム=フセイン政権を打倒し、フセインを処刑。しかし大量破壊兵器は発見されず、今年になってブッシュ自身が誤りを認めているが、イラク攻撃を支持、支援した小泉首相の反省の弁は全くなし。太平洋戦争に無反省で責任を取らない当時の日本の為政者の体質がキチンと継承されています。

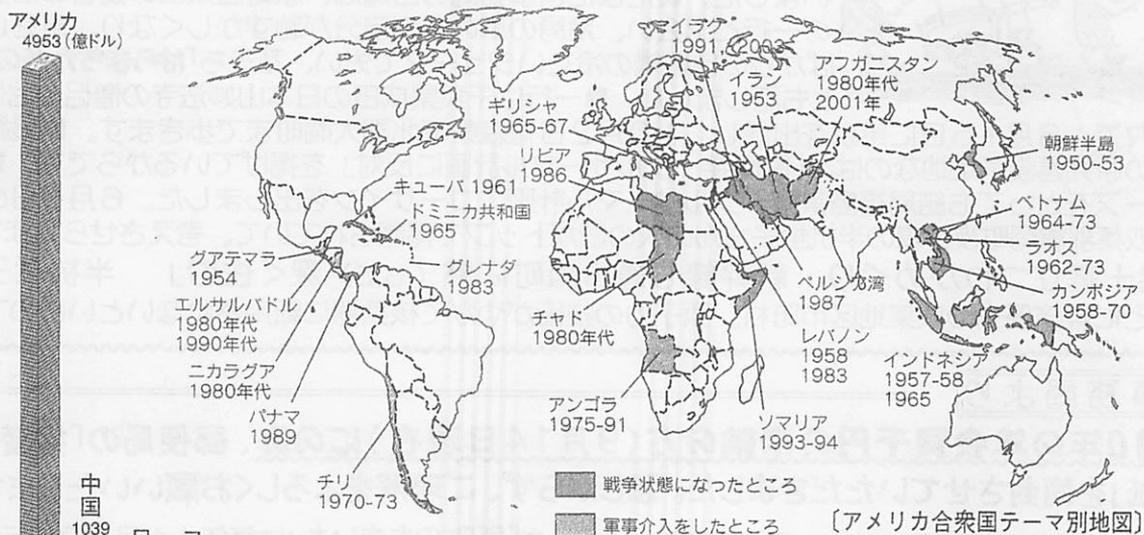


アメリカは常に「正義」で「世界の警察官」? こんなに多い アメリカの世界各地への軍事介入・内政干渉

超大国 アメリカ

アメリカの軍事介入とテロリズム

▼⑩アメリカの軍事介入



◀⑪おもな国の国防費 第二次世界大戦後、アメリカは世界の「自由主義」と「民主主義」を守るとして各地の紛争・内戦に介入し、「世界の警察官」を任じている。冷戦後も突出した国防費を保ち、イラク戦争ではじめて自衛権を行使し、先制攻撃する戦略をとるなど軍事介入を深めている。

(▲帝国書院『最新世界史図説・タペストリー』より)

- アメリカはなぜこんなにも世界中に軍事介入を繰り返すのか。それは軍需産業が巨大化し、戦争をしなければもうアメリカ経済が成立しないような構造になっているためとされています。
- 今夏広島市長も長崎市長も、「日本こそ平和憲法、とりわけ憲法第9条を盾にして、核廃絶や軍縮の世界の先頭に立つべきだ」と強く訴えています。戦後65年になって、日米安保体制ももう見直すべき時機にきているし、アメリカ追従でなく、「武力で平和は生まれない」、「憲法第9条の実現」ということを力強く推進していく、真に勇気のある政治家は日本に現れないのでしょうか。
- 8月14日、菅直人さん首相続投に。憲法9条実現や世界の平和のため最大の力を発揮して欲しい!

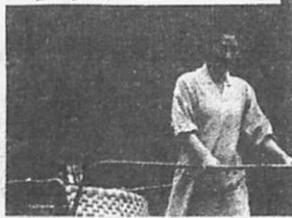
話題の映画

若松孝二監督／寺島しのぶさん

ベルリン国際映画祭2010 最優秀主演女優賞

〈銀熊賞〉受賞

「キャタピラー」



戦争で四肢を失い帰還してきた夫。剥き出しの欲望の塊と成り果てた「軍神」のために、妻は飯をこらえ、体を捧げた。そして1945年8月15日、二人に敗戦が訪れる…。戦争は国を変え、人を変える。鬼才・若松孝二が再び放つ、現代の我々への強烈なるメッセージ。

「キャタピラー-caterpillar」は「イモムシ」のこと。手足をなくした夫をさす。

監督 若松孝二
主演 寺島しのぶ、大鶴久保子、山崎健一、山崎真由美、山崎真由美、山崎真由美

「樺太1945年夏

氷雪の門」



1974/日/1h59

1945年の夏、樺太。終戦を迎えても続くソ連軍の攻撃のなか、真岡郵便局電話交換手の女性たちは、通信連絡を取り続けた。1974年に完成するも公開中止となり、36年ぶりに編集を加えて甦った本作。不条理に埋もれ死んでいった彼女らの無念の声に、強く平和を祈る。

○映画は36年前に完成したが、ソ連からの圧力を恐れ、公開出来なかった話題の映画。スタッフの執念で今公開へ。原作：金子俊男、監督：村山三男、出演：二木てるみ・島居恵子・岡田可愛。

監督 村山三男
主演 二木てるみ、島居恵子、岡田可愛、野村いずみ、今出川西紀、八木孝子

あの炎天下、「九条を守ろう・命の行進」が原町を通過

8月15日東京出発～10月2日青森県大間原発建設予定地到着予定



■気温35度の炎天下の9月1日（水）午後、「核兵器廃絶」「憲法九条は世界の宝」の旗を掲げ、リヤカーを引き、テント、寝袋、リュックを背負って読経しながら歩く5名のグループが、原町区旧国道を北上していました。■たまたま事務局の山崎は、原町区太田の鶴谷の旧国道でその一行と出会い、冷房の車の中の自分が恥ずかしくなり、車を止めて心ばかりの自販機の冷たいジュースで労い、私たち「はらまち九条の会」のことも話しました。■一行は千葉県成田の日本山妙法寺の僧侶と尼僧さん、

市民の方々に、8月15日に東京を出発し、10月2日青森県下北郡大間町まで歩きます。■最終目的地が大間町の原発建設予定地なのは、「脱原発・プルサーマル計画に反対」を掲げているからです。■8月、どんなポーズをとっても結局福島県は、プルサーマル計画にゴーサインを出しました。6月6日の朝日歌壇には、双葉郡富岡町夜ノ森の半杭蛭子さんの次の歌がトップで掲載されていて、考えさせられます。

「原発十基立つわがめぐり 新幹線も通らぬ町に黙（もた）深く住む」 半杭蛭子
悲しいほどに経済優先の双葉地区市町村。原子力の技術がやがて核兵器に転用されないといいのですが。

事務局より

◆2010年の年会費千円の未納の方(9月14日現在)にのみ、郵便局の「振替払込用紙」を同封させていただきました。悪しからず、ご理解をよろしく願いいたします。

◆一昨年の総会のご意見に従い、原ノ町駅前の中央図書館のパンフレット棚にも会報「九条はらまち」を毎月数部置かせていただいています。見てくれる方がいるのかな、ムダかなと2年間ずっと思っていました。先日「会報を見た。入会したい」という方がわざわざ事務局の拙宅に来られ、本会に入会されました。心から嬉しく思います。

◆「原町のあきいち」は毎年11月3日に行われ、本会でも今年は「原町空襲展」をやろうと計画を進めていました。でも8月になって、「今年は10月17日（日）に変更」ということがわかり、事務局員の日程が悪く、参加できなくなりました。ですから、来年1月の「漫画家の戦争体験絵画展」の開催に力を入れることにします。

「はらまち九条の会」事務局連絡先 ○会長：平田慶肇 TEL0244-24-1211
○事務局長：山崎健一 〒975-0014 南相馬市原町区西町3-53-2 TEL22-8631
○会計：井上由美 TEL22-7511・FAX26-0892 ○石田賢二 TEL22-4037
○早坂吉彦 TEL22-0326 ○番場恵子 TEL22-0715



<名歌>「おそらくは今も宇宙を走りゆく二つの光 水ヲ下サイ」岩井謙一
(「二つの光」とは広島・長崎に投下された原子爆弾をさすそうです)